

# ぱーとなーず

地域とけんみん信組をつなぐ情報誌

vol.36  
2018.8

<発行所>  
山梨県民信用組合 営業統括部  
地域支援課（総合相談センター）  
〒400-0032 甲府市中央1丁目18-6  
Tel. 055-233-4176



写真は、山梨県産業技術センターの研究員の皆様です。

山梨県民信用組合は、女性の活躍を応援しています。

山梨県民信用組合は、地域の皆様を応援してまいります。

私たちは緑の募金に参加しています。



私たちは献血推進キャンペーンを応援しています。



皆様のベストパートナーをめざして

山梨県民信用組合



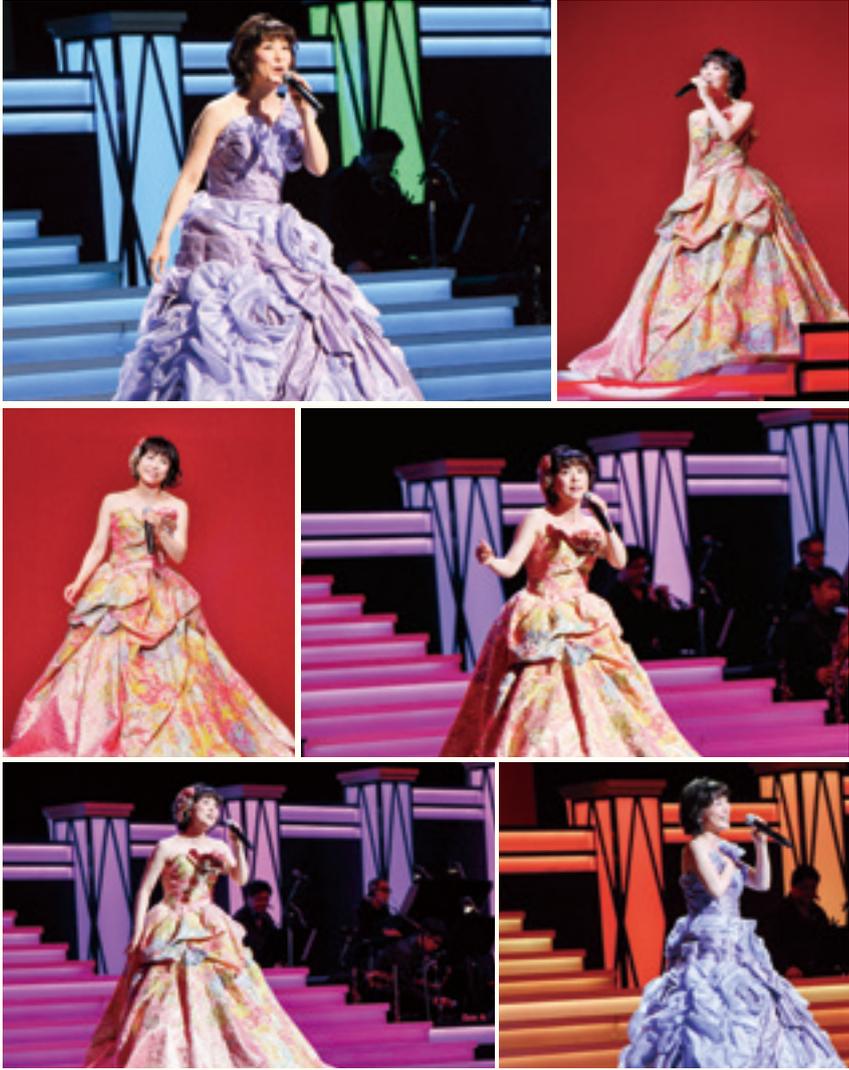
ちかくにいるから、チカラになれる。

## けんみん信組「年金友の会」定期総会

「けんみん信組年金友の会」平成30年度定期総会を6月12日、13日の両日、コラニー文化ホールで開催しました。お陰さまで、両日合計で約6000名の皆さまにご参加いただき、盛大に開催することができました。総会に続く「水森かおりコンサート」では、ステージ上だけでなく、会場に降りて歌いながら時間を掛けて皆様と握手を交わされていました。最後は、昨年の「紅白」の衣裳でステージ高く舞い上がり「早瀬の瀬戸」を歌いあげました。全21曲の渾身の熱唱は私どもに大きな感動を与えてくださいました。また、ご自身のブログにも「けんみん信組年金友の会」のことを早速掲載されておられるなど、気さくなお人柄は益々ファンが増えたことと思います。水森かおりさん、2日間に亘って4回のステージ、ほんとうにありがとうございました。お客様をお見送りする際に、「今日は良かった。ありがとうございました。」「今までで一番良かったです。ありがとうございました。」「多くのお客様から私ども役職員に対してのお声掛けがあったのが、とても印象に残りました。」

” 水森かおりさん、私たちに「感動」をありがとうございました。 “

山梨県民信用組合は、皆様の年金ライフを応援いたします。



13日夜の部・花束贈呈(岩澤貴美雄様ご夫妻)



12日昼の部・花束贈呈(石川洋司様)



12日夜の部・花束贈呈(三森秀俊様)



13日昼の部・花束贈呈(望月千加子様)

## お礼

「けんみん信組年金友の会」会員の皆様には、日頃から当組合をご利用いただきましてありがとうございます。また、6月12日、13日の両日に亘り開催いたしました定期総会には、大勢の皆様方にご参加いただき、心から感謝申し上げます。「水森かおりコンサート」お楽しみいただけましたでしょうか。次は11月実施の「けんみん信組年金友の会親睦旅行」です。今年「世界遺産・日光東照宮と会津東山温泉」の旅です。平成の大修理を終え色蘇る陽明門をご覧いただき、会津東山温泉でお楽しみください。詳細は最寄りの営業店または営業担当者にお尋ねください。多くの皆様のご参加をお待ちしております。併せて、来年の年金総会アトラクションの企画検討にも既に着手したところであり、皆様にご喜んでいただけの企画をご用意できるよう準備を進めてまいりますので、次回総会も是非お楽しみになってください。

さて、皆様からお取引をいただいております公的年金は、本年4月分の振込件数は4万1千件、振込金額は57億円で、振込件数、振込金額ともに全国148の信用組合中、第3位の規模を誇っております。また、平成29年度の振込金額の合計は344億円に上り、県内で第2位の規模となっております。これも、ひとえに「年金友の会」会員の皆様からの温かいご支援とご愛顧の賜物であり、心からお礼申し上げます。

私ども山梨県民信用組合では、皆様からの信頼にお応えするため、皆様へのきめ細やかなサービスの提供に引き続き努めてまいりますので、年金に関する疑問等、皆様のお宅をご訪問している各店舗の営業担当者にお気軽に御尋ねください。また、総合相談センターでも、専門の職員が皆様のサポートに万全を期しておりますので、こちらにも、お気軽にご相談ください。(年金相談フリーダイヤル0120-4871652)

当組合では、皆様に一層ご満足していただけますよう、更なるサービスの充実に向けまして、役員一同、なお一層の努力をまいりますので、引き続き当組合に変わらぬご愛顧を賜りますよう、心からよろしくお願ひ申し上げます。

まだまだ暑い日が続きますので、皆様にはくれぐれもご自愛ください。

平成30年8月吉日

山梨県民信用組合 役職員一同

## 山梨県産業技術センター訪問

今回は、従前の工業技術センター等を統合して新たに発足した山梨県産業技術センター（手塚伸所長）を訪問いたしました。この「ぽーとなーず」では、平成26年6月発行の12号で当時の山梨県工業技術センターをご紹介して以来となります。

**手塚所長** 産業技術センターは昨年4月、旧工業技術センター、旧富士工業技術センターを統合すると同時に、産学官連携などを進める司令塔となる管理連携推進センターを新たに設置し、スタートしました。これを契機に、従来にも増して研究開発支援や技術支援を積極的に進めているところです。特に、異業種連携による新たな付加価値創造や、金融機関や支援機関とのコミュニケーションを密にして、新商品開発支援を行うなど、事業者の皆様方の事業化や売れる商品づくりを強力に支援しているところです。どうぞ皆様方には、これまで以上にセンターをご利用の程お願い申し上げます。さて、ここ数年、食品分野では、地域固有の一次産品を軸にして、様々な地域資源を有効利用した新しい加工商品づくりのご相談が増加しています。当センターの食品酒類・バイオ科においては、こうしたご相談に日々対応しております。どうぞこの活動の一端をお聞きいただければと思います。

（食品関係の研究者さんからお話を伺いました。）  
**○先程、所長さんから食品関係のニーズが最近高まっているというお話をお伺いしましたが、食品酒類・研磨宝飾技術部の「食品酒類・バイオ科」への相談はどのような内容のものが多いのですか。**

**有泉直子部長・主幹研究員** 消費者の安全・安心への意識は年々高まっており、企業の皆さまが自社製品の品質管理やクレーム対応に大変ご苦労されている様子が窺えます。一方で消費者の関心は移ろいやすく、取引先さまからも常に目新しい製品を求められます。自社製品の付加価値をいかに高め、差別化するのかが玉石混淆の情報が氾濫する中、企業の皆さまには、私たちの専門知識を上手に活用しながら、アピールして頂きたいと思います。センターにお越しになったときには不安そうな顔をしていたお客さまが、お帰りになるとは安堵された表情を見せることもあります。そのような瞬間に立ち会えることが、この仕事の醍醐味かも知れませんね。ところで、当科は5名でワインを除く食品酒類全般を担当していますが、財布のひもを握る女性の視点を大切にしています。実際、彼女たち



山梨県産業技術センター  
手塚伸 所長

の研究が注目を集めていますよ。  
**○樋口研究員さんは、今、主にどのような研究をなさっておられるのですか。**

**樋口かよ研究員** 県産小麦「ゆめかおり」の食品加工特性を研究しています。産地及びタンパク質含有量ごとに分けて製パン加工適性を比較した結果、タンパク質含有量が約13%のものが、標準的なパン用小麦（カナダ産）と比較して遜色のないことが確認できました。一方、タンパク質含有量約10%の「ゆめかおり」を使用したバターロール、うどん麺、ほうとう麺の試作試験では、充分活用できる結果となったものの、官能評価（実食評価）で、うどん麺だけは製品適性のある「きぬの波」との比較でかたさを示し粘りつきも少ないという結果となりました。今後は、官能評価でも良好とされた「ほうとう麺」の結果を踏まえて、パスタ麺への展開も研究していきます。

**○尾形研究員さんはどのような研究をなさっておられるのですか。**

**尾形美貴研究員** 加工食品の賞味期限設定手法に関する研究を主に行っています。加工食品は期限表示（消費期限・賞味期限）が義務付けられていて、具体的には厚労省と農水省が合意策定したガイドラインでは（食品の安全性や品質等を的確に評価するための）客観的な指標に基づき期限を設定することになっています。ただ、何を指標とするかは製造者自身が決めなければなりません。当センターでの研究は、微生物学的試験、理化学的試験及び官能試験を行い、賞味期限を設定する手法についての検討を行うものです。県産農産物加工品のうちで最も多く製造されていると考えられるジャムについての検討結果では、賞味期限は官能試験結果と色差を根拠として設定できることが分かりました。この研究は加工食品の種類ごとに必要となりますので、今後、皆さまのニーズを踏まえ、減塩志向の中で塩分を控えめにした梅干しについての賞味期限の研究に展開していきたいと考えています。

○最後に、所長さんからも一言お願いします。

**手塚所長** 紹介申し上げた、賞味期限設定手法の確立については、方法論や根拠、必要な設備など、中小企業の皆様方が大変お悩みの課題かと思えます。こうした課題を私どもが研究し、県内の事業者の皆様方に成果を提供していくことは本来的で重要な役割です。また、地域資源である農産物を活用した商品づくりへの技術支援も当センターの果たすべき大きな役割です。こうした地道な取り組みを通じて、県内産業の活性化に貢献して参りたいと考えています。また、事業成功のためには、開発商品が市場に受け入れられ、一定の収益を確保することが必須です。これには、専門家の力を借りたブランディング戦略、金融機関からの資金調達など様々な取り組みが必要であり、金融機関はじめ関係機関との連携が不可欠です。事業化支援に当たっては、貴組合とも更に連携強化を図って参りたいと考えていますので、引き続きよろしくお願ひします。

○本日は貴重なお話ありがとうございました。今後とも連携を密にしていきたいと考えていますので、引き続きよろしくお願ひします。



甲府技術支援センター



富士技術支援センター



ワインセンター



デザインセンター

## 「年金友の会」定期総会 その2

年金友の会の会長さん方と水森かおりさんとの記念写真です。



Yamanashi Konmin Shinkumi

カードローン

# Solution

ソリューション

300万円までは  
Webで完結  
来店不要

ご融資金額  
30万円以上1,000万円以内  
0円～1.5%引、融資上限は申込額以下となります

ご融資利率  
500万円まで  
(年6.0%・年5.0%・年3.0%)  
1,000万円まで  
(年3.80%)

当組合にて住宅ローンをご利用のお客さまは  
**0.5%優遇**

ご融資利率はお客さま毎に審査のうえ決定致します。  
スマートフォンからもお申込みができます!

詳しくは、けんみん信組の窓口または、営業係までお気軽にお問い合わせください。

けんみん信組年金友の会 観音旅行のご案内

## 「平成の大修理」を終え色蘇る陽明門 世界遺産・日光東照宮と会津東山温泉

皆さまにおかれましては、誠にありがとうございます。  
平素は、御座います。誠にありがとうございます。誠にありがとうございます。  
さて、今年度の年金友の会観音旅行につきましては「世界遺産・日光東照宮と会津東山温泉」の旅行を「観音成りて」実施することとなりました。  
「平成の大修理」を終え、色蘇る会津東山温泉(日光東照宮)と会津東山温泉として有名な(会津)にて、今年度の観音成りてを実施いたします。誠にありがとうございます。  
ぜひお楽しみください。ご参加いただきありがとうございます。

1期 11月 5日(月)	2期 11月 6日(火)	1,400名 (各席200名)
3期 11月 7日(水)	4期 11月 8日(木)	
5期 11月 12日(月)	6期 11月 13日(火)	29,500円
7期 11月 14日(水)		

申込書へ旅行代金を添え10月5日(金)までにけんみん信組の総合営業係・年金レディまたは窓口までお申し込み下さい。



写真は、6月12日に県庁の県政記者室で行われた記者発表の様です。左から、全国信用協同組合連合会の内藤純一理事長、当組合の廣瀬正文(前)理事長、南邦男(新)理事長です。なお、内藤理事長様には、ご多忙中、当組合のためだけに、当日の発表にご同席くださいました。

# ごあいさつ

山梨県民信用組合  
理事長 南 邦男



皆様には、平素より私ども山梨県民信用組合をご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、理事長に就任いたしました南でございます。大変大きな重責を担い身が引き締まる思いでございますが、お客様のために、誠心誠意経営に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

私ども信用組合は、地域の中小規模事業者・勤労者・生活者の皆様方を組合員とし、お互いが助け合い共に成長していくという相互扶助の精神に基づき設立された金融機関であります。当組合の組合員数は現在12万人、地域における預金積金のシェアは約10%、貸出金のシェアは約17%を占めており、全国の信用組合の中でも群を抜いております。私どもは、県下に必要不可欠な金融インフラの一翼を担う存在であり、これからもその役割を果たしてまいりたいと強く思っております。

現在、私どもを取り巻く環境は大きく変化しており、人口の減少や少子・高齢化、地域の過疎化などが急速に進む状況の中で、マイナス金利等の金融政策も相俟って、金融機関にとりましては大変厳しい状況が続いております。また、私どもの主要なお客様であります地域の中小規模事業者・勤労者・生活者の皆様方は、景気回復を実感できない状況が依然として続いており、事業者の皆様の中には、事業の継続を真剣に悩んでおられるお客様や当組合の助けを必要とされるお客様が多数いらっしゃいます。こうしたお客様への積極的なサポートを通じて、地域の皆様方の発展に寄与していくことが、当組合の基本的かつ変わらぬ使命であると、私は確信しております。

私どもは、「今こそ、皆様方のお役に立てるとき」であると考

え、「相互扶助の精神」のもと設立された地域密着型金融機関として、その原点に回帰した経営を続けていく所存であり、その実現のため、当組合の経営基盤の確保に向けた抜本的な経営改革に取り組みをまいります。7月にスタートした新体制では、役員が皆同じ思いのもと、強い使命感を持って一致団結し、経営改革に取り組みをしております。

この改革の一部は、既に昨年後半から、私がチームリーダーを務める「生産性向上プロジェクトチーム」により進めてきたところであり、本部組織のスリム化、店舗統合・新規出店・エリア制導入、人員の適正配置やシステムの積極的導入による業務改革として実現しております。新たな経営体制のもとでも、当組合が策定した経営改革プランに基づき、経営改革を一層着実に進めていく決意であります。

私の責任は、将来にわたる強固な経営基盤の確立と、お客様の利便性、金融サービスの更なる向上を図るために必要な経営改革を進めていくことにあると考えております。役職員一同が真に一丸となって、皆様のベストパートナーとなることを目指し、地域に根差した信用組合としての責務を果たしてまいりますので、皆様には引き続き、山梨県民信用組合へのご支援・ご協力並びにご愛顧をお願い申し上げます。